

## 2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月10日

上場会社名 株式会社 トレジャー・ファクトリー 上場取引所 東  
コード番号 3093 URL https://www.treasurefactory.co.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野坂 英吾  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 小林 英治 TEL 03-3880-8822  
半期報告書提出予定日 2024年10月10日 配当支払開始予定日 2024年11月1日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	19,614	23.7	1,745	20.5	1,757	19.7	1,144	22.8
2024年2月期中間期	15,862	23.7	1,448	44.5	1,468	42.3	932	40.2

（注）包括利益 2025年2月期中間期 1,168百万円（21.6%） 2024年2月期中間期 961百万円（44.1%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	48.86	48.86
2024年2月期中間期	39.97	39.78

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	18,966	9,351	48.9
2024年2月期	17,728	8,526	47.8

（参考）自己資本 2025年2月期中間期 9,279百万円 2024年2月期 8,475百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	12.00	—	16.00	28.00
2025年2月期	—	18.00	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	—	—	16.00	34.00

（注1）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,862	21.5	4,041	20.7	4,069	20.0	2,723	21.5	116.23

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ― 社（社名）―、除外 ― 社（社名）―
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期中間期	24,347,800株	2024年2月期	24,347,800株
② 期末自己株式数	2025年2月期中間期	911,716株	2024年2月期	939,176株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年2月期中間期	23,427,376株	2024年2月期中間期	23,329,998株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている将来に関する事項は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき記載したものであり、今後様々な要因によって異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間 .....	6
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、訪日外国人観光客の増加によるインバウンド需要の拡大や、雇用・所得環境の改善などにより、景気は緩やかに回復傾向となりました。一方で、不安定な海外情勢、円安による物価上昇、為替動向の急速な転換など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

リユース業界においては、社会がよりサステナブルな消費行動へ変化していることや、物価高に伴う中古品・リユース品への需要増加などを背景に、引き続き市場全体が拡大しております。

当社グループにおきましては、当中間連結会計期間は、当社単体で直営店を11店出店し、既存店売上も堅調に推移しました。また、リユース事業を行うグループ会社の株式会社カインドオールや株式会社ピックアップジャパンがいずれも堅調に推移し、増収増益となりました。

その結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高19,614百万円（前年同期比23.7%増）、営業利益1,745百万円（前年同期比20.5%増）、経常利益1,757百万円（前年同期比19.7%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は1,144百万円（前年同期比22.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

#### （リユース事業）

連結売上が前年同期比23.3%増、単体の売上は同18.2%増、単体既存店が同7.9%増となりました。カテゴリー別では、衣料は春夏物の需要の伸びを受けて前年同期比23.7%増となりました。電化製品は、3-4月の新生活需要や6-8月の夏物家電需要を取り込み、前年同期比14.9%増となりました。また、外国人観光客向け販売の伸長などから、ブランド品や腕時計などの服飾雑貨は前年同期比26.1%増となりました。ホビー用品は、前期にグループに加わったゴルフリユース業態の売上貢献とアウトドアやスポーツ用品が堅調に推移していることから同54.3%増と非常に高い伸びとなりました。また、連結のEC販売額は前年同期比31.6%増、単体のEC販売額は同30.5%増となりました。

仕入では、当期連結商品仕入高は前年同期比19.3%増、単体の仕入は同11.0%増となりました。単体の買取チャネル別では、持込買取が同9.1%増と引き続き堅調に推移し、店舗以外の買取チャネルでは、宅配買取が同12.8%増、出張買取も同11.2%増と好調に推移しました。

出店は、当中間連結会計期間においては、単体にて総合リユース業態を5店、服飾専門リユース業態を5店、古着アウトレット業態1店、計11店出店しました。出店地域は、関東8店、関西2店、中部1店となりました。当中間連結会計期間末における店舗数は、単体で直営店198店、FC店4店の合計202店、グループ全体で合計284店となりました。

以上の結果から、売上高は19,119百万円（前年同期比23.3%増）、セグメント利益は2,760百万円（前年同期比20.9%増）となりました。

#### （その他）

レンタル事業では、結婚式などのイベント需要などを取り込み、売上は前年同期比9.4%増となったものの、センター移転による費用増などにより、販管費が同25.0%増となったことから、減益となりました。

以上の結果から、売上高は695百万円（前年同期比32.9%増）、セグメント損失は2百万円（前年同期はセグメント利益64百万円）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における資産合計は、商品が534百万円増加、建物及び構築物（純額）が256百万円増加、敷金及び保証金が276百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して1,237百万円増加し、18,966百万円となりました。

当中間連結会計期間末における負債合計は、短期借入金が105百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が91百万円増加、賞与引当金が45百万円増加、長期借入金が191百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比較して412百万円増加し、9,615百万円となりました。

当中間連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する中間純利益を1,144百万円計上、配当金の支払いにより374百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比較して825百万円増加し、9,351百万円となりました。

## （キャッシュ・フローの分析）

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1百万円増加し、2,609百万円となりました。また当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは1,256百万円の収入（前年同期は158百万円の支出）となりました。これは主に税金等調整前中間純利益1,756百万円、減価償却費341百万円があった一方で、棚卸資産の増加額550百万円があったことによるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは909百万円の支出（前年同期は695百万円の支出）となりました。これは主に店舗新設に伴う有形固定資産の取得による支出546百万円、敷金及び保証金の差入による支出289百万円があったことによるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは346百万円の支出（前年同期は128百万円の支出）となりました。これは主に長期借入れによる収入420百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出520百万円、配当金の支払いによる支出374百万円があったことによるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の通期連結業績予想につきましては、2024年7月10日に発表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,617	2,619
売掛金	1,174	1,169
商品	6,899	7,433
その他	772	850
流動資産合計	11,464	12,072
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,815	2,072
土地	426	426
その他（純額）	590	667
有形固定資産合計	2,831	3,166
無形固定資産		
のれん	361	337
その他	158	169
無形固定資産合計	520	507
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,274	2,550
その他	638	669
投資その他の資産合計	2,912	3,220
固定資産合計	6,264	6,893
資産合計	17,728	18,966

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	116	120
短期借入金	2,506	2,611
1年内返済予定の長期借入金	918	1,009
未払法人税等	694	701
契約負債	97	107
返金負債	49	65
賞与引当金	455	501
株主優待引当金	6	3
資産除去債務	9	43
その他	1,572	1,858
流動負債合計	6,426	7,024
固定負債		
長期借入金	1,962	1,771
資産除去債務	786	793
その他	26	26
固定負債合計	2,775	2,590
負債合計	9,202	9,615
純資産の部		
株主資本		
資本金	906	906
資本剰余金	857	865
利益剰余金	7,296	8,066
自己株式	△603	△585
株主資本合計	8,458	9,253
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	17	25
その他の包括利益累計額合計	17	25
新株予約権	3	—
非支配株主持分	47	71
純資産合計	8,526	9,351
負債純資産合計	17,728	18,966

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
 (中間連結損益計算書)  
 (中間連結会計期間)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	15,862	19,614
売上原価	6,024	7,801
売上総利益	9,838	11,813
販売費及び一般管理費	8,389	10,068
営業利益	1,448	1,745
営業外収益		
受取利息	0	1
自販機収入	7	7
為替差益	5	—
その他	15	16
営業外収益合計	28	25
営業外費用		
支払利息	6	11
その他	2	1
営業外費用合計	8	12
経常利益	1,468	1,757
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	0	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前中間純利益	1,468	1,756
法人税、住民税及び事業税	448	612
法人税等調整額	61	△16
法人税等合計	510	596
中間純利益	958	1,160
非支配株主に帰属する中間純利益	25	15
親会社株主に帰属する中間純利益	932	1,144



(中間連結包括利益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
中間純利益	958	1,160
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3	8
その他の包括利益合計	3	8
中間包括利益	961	1,168
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	935	1,153
非支配株主に係る中間包括利益	25	15

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	1,468	1,756
減価償却費	237	341
のれん償却額	8	23
株式報酬費用	24	2
賞与引当金の増減額（△は減少）	△56	45
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△5	△2
受取利息及び受取配当金	△0	△1
支払利息	6	11
為替差損益（△は益）	△2	3
助成金収入	△0	—
固定資産除売却損益（△は益）	0	1
未払消費税等の増減額（△は減少）	△147	40
売上債権の増減額（△は増加）	△49	5
棚卸資産の増減額（△は増加）	△945	△550
仕入債務の増減額（△は減少）	△5	4
その他	△18	171
小計	513	1,854
利息及び配当金の受取額	0	1
利息の支払額	△6	△11
助成金の受取額	0	—
法人税等の支払額	△665	△587
営業活動によるキャッシュ・フロー	△158	1,256
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△460	△546
無形固定資産の取得による支出	△48	△39
敷金及び保証金の差入による支出	△160	△289
敷金及び保証金の回収による収入	20	12
その他	△47	△47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△695	△909
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	295	105
長期借入れによる収入	310	420
長期借入金の返済による支出	△465	△520
新株予約権の発行による収入	38	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	182	22
自己株式の取得による支出	△200	△0
配当金の支払額	△289	△374
財務活動によるキャッシュ・フロー	△128	△346
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△976	1
現金及び現金同等物の期首残高	3,065	2,607
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,089	2,609

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2023年3月1日 至 2023年8月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書計上額 (注) 3
	リユース事業				
売上高					
外部顧客への売上高	15,500	362	15,862	—	15,862
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	161	161	△161	—
計	15,500	523	16,024	△161	15,862
セグメント利益	2,282	64	2,347	△898	1,448

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、レンタル事業、システム事業、不動産事業等を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益の調整額は全社費用であり、主にセグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(注) 3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当中間連結会計期間（自 2024年3月1日 至 2024年8月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書計上額 (注) 3
	リユース事業				
売上高					
外部顧客への売上高	19,119	495	19,614	—	19,614
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	200	200	△200	—
計	19,119	695	19,814	△200	19,614
セグメント利益又は損失 (△)	2,760	△2	2,758	△1,013	1,745

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、レンタル事業、システム事業、不動産事業等を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益の調整額は全社費用であり、主にセグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(注) 3 セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。